

2019年度
指導の重点

郷土に誇りを持ち、
こころ豊かで自立した人づくり

—次代につなぐ教育の推進—



朝来市教育委員会

1 2019年度「指導の重点」の構成

平成27年3月、本市の教育施策に関する基本的な計画である「第2期あさご夢・学びプラン（朝来市教育振興基本計画）」を策定しました。

2019年度「指導の重点」も「第2期あさご夢・学びプラン」の基本方針等に沿った構成とします。

第2期 あさご夢・学びプラン(平成27年度～31年度)		2019年度 指導の重点
基本方針	基本的方向	大項目
1 ふるさとに感謝し、自立して未来に挑戦する態度の育成	社会的自立に向けたキャリア形成の支援	1 キャリア教育の推進
	兵庫型「体験教育の推進」	2 体験活動
	グローバル化に対応した教育の推進	3 国際化に対応した教育
		4 伝統と文化に関する教育
2 「生きる力」を育む教育の推進	「確かな学力」の育成	5 「確かな学力」の育成
		6 「ことばの力」の育成
		7 理数教育
		8 情報教育
	「豊かな心」の育成	9 道徳教育
		10 人権教育・多文化共生教育
		11 環境教育
		12 防災教育
	「健やかな体」の育成	13 体育・スポーツ活動
		14 健康教育・安全教育
	幼児期の教育の充実	15 幼児期の教育
		16 園・小連携
		17 家庭教育
	特別支援教育の充実	18 特別支援教育
3 子どもたちの学びを支える仕組みの確立	学校の組織力及び教職員の資質能力の向上	19 教職員の協働体制
		20 児童生徒理解に基づく生徒指導
		21 教職員としての資質能力と実践的指導力の向上
	安全・安心な学習環境の整備	22 学ぶ場の整備
	家庭の教育力の向上	23 学校・家庭・地域の連携
	地域で子どもを育てる環境づくりの推進	
4 すべての市民が学ぶ生涯学習社会の形成	生涯を通じた学びの機会・場の充実	24 生涯を通じた学びの充実
	郷土の歴史文化遺産の保存・活用、継承	25 文化財の保存・活用・継承
	スポーツの振興	26 生涯スポーツの環境整備

第2期朝来市教育振興基本計画（あさご夢・学びプラン）推進のために

第2期「あさご夢・学びプラン（朝来市教育振興基本計画）」（2015年～2019年度）の概要は以下の通りです。

基本理念

郷土に誇りを持ち、こころ豊かで自立した人づくり

—次代につなぐ教育の推進—

【基本理念の趣旨】

従来から本市では、「こころ豊かな人づくり」を推進するため、市民の「参画と協働」により市民すべてが教育に関わることをめざしてきた。第1期プランにおいても学校・家庭・地域が連携・協力し、「特色ある学校づくり事業（あさごドリームアップ事業）」など朝来市独自の特色のある教育を推進してきた。

この間、人口減少社会の到来や価値観の変化、グローバル化の進展等、教育を取り巻く環境は変化している。変化の激しい時代にあっても朝来の子どもたちが、自分たちの住む朝来市に誇りを持ち、こころ豊かに将来の夢や目標をもち創造性やチャレンジ精神などを培い、自らの個性と可能性を伸ばすことが重要である。その上で、自ら課題を見つけ、その解決策を考え、実行して、その責任を取ることでできる自立した人間としてたくましく生き抜いていける子どもの育成のため、キャリア教育の視点を持った教育の推進が重要である。

【副題の趣旨】

副題「次代につなぐ教育の推進」は、ふるさと朝来を愛し、将来朝来の発展に貢献できる人づくりをめざすため、ふるさとの豊かな自然や伝統・文化、そこに暮らしている人々とのつながりを大切にし、それらを次代に伝えていく教育をめざしたいと考えた。

（めざす人間像）

- 知・徳・体の調和がとれ、自立して生涯にわたって自らの夢や志の実現に努力する人
- ふるさとを愛し、互いに支え合い協力しながら、明日の朝来を切り拓き、日本の未来を担う人
- わが国の伝統と文化を基盤として、創造性やチャレンジ精神を持って国際社会に貢献できる人

(培う力)

- 心身ともに健康で、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うこと
- 柔軟な思考力に基づく判断力や創造力、コミュニケーション能力を培い、勤労を重んずる態度を養い、生涯にわたって個性や資質能力を磨き、志を持って自らの未来を切り拓く力を培うこと
- 一人一人が社会を構成する一員としての責任を自覚し、公共の精神や人権尊重の精神に基づき、よりよい社会づくりに向けて主体的に行動する力を培うこと
- 生命を尊び、自然を大切にし、思いやりや寛容の心をもって多様な人々と共生する態度を養うなど、地域の人々と手を携えながら、ふるさと朝来の発展に貢献する力を培うこと
- 伝統と文化を尊重し、我が国やふるさと朝来を愛する態度を養うとともに、異なる文化や価値観を理解し、国際社会の平和や発展に貢献する力を培うこと

【各主体の責任と役割】

第2期プランでは以下のように、各主体の責任と役割を明記しています。

教育委員会

朝来の子どもたちの現状と課題を把握し、「次代につなぐ教育の推進」のため適切かつ実効性のある施策を遂行する。学校園や教職員等に必要な指導助言を行い、教職員が教育活動に専念できるよう支援する。

学校園、教育機関

子どもたちの人格の完成をめざし、知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育む教育を行う。教職員は、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努める。

社会教育施設は、市民の学習の機会及び情報の提供など社会教育の振興に努める。

家庭

子どもたちの教育に第一義的責任を有し、基本的な生活習慣を身につけさせるとともに自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図る。

地域

学校園や家庭と連携・協力を進め、地域の将来の担い手である子どもたちの教育に積極的に関わる。

〔基本理念〕

郷土に誇りを持ち、こころ豊かに自立した人づくり

—次代につなぐ教育の推進—

〔目指す人間像〕

- 知・徳・体の調和がとれ、自立して生涯にわたって自らの夢や志の実現に努力する人
- ふるさとを愛し、互いに支え合い協力しながら、明日の朝来を切り拓き、日本の未来を担う人
- わが国の伝統と文化を基盤として、創造性やチャレンジ精神を持って国際社会に貢献できる人

自立

自立した人間を目指して自ら学んでいく

協働

課題を協働によって創造的に解決していく

〔基本的政策1〕
ふるさとに感謝し、自立して未来に挑戦する態度の育成

〔基本的政策2〕
「生きる力」を育む教育の推進

〔基本的政策3〕
子どもたちの学びを支える仕組みの確立

〔基本的政策4〕
すべての市民が学ぶ生涯学習社会の形成

社会的自立に向けたキャリア形成の支援

兵庫型「体験教育の推進」

グローバル化に対応した教育の推進

「確かな学力」の育成

「豊かな心」の育成

「健やかな体」の育成

幼児期の教育の充実

特別支援教育の充実

学校の組織力及び教職員の資質能力の向上

安全・安心な学習環境の整備

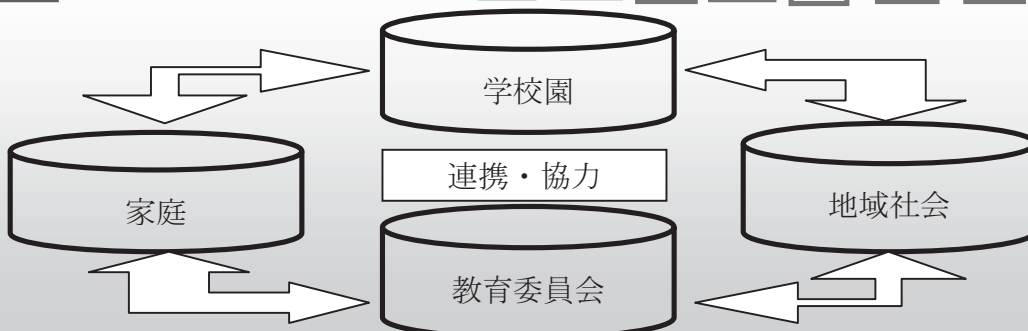
家庭の教育力の向上

地域で子どもを育てる環境づくりの推進

生涯を通じた学びの機会・場の充実

郷土の歴史文化遺産の保存・活用、継承

スポーツの振興



2019年度の指導の重点は、この第2期プランの基本方針に沿った構成としています。

基本方針1

ふるさとに感謝し、自立して未来に挑戦する態度の育成

○ 社会的自立に向けたキャリア形成の支援

1 社会的自立に必要な態度や能力の育成を図るキャリア教育の推進

(1) 小・中学校においては、キャリア教育の全体計画、年間指導に基づき、キャリアノートやキャリア教育指導資料等の積極的な活用と評価するなど、特別活動を要として、校内の組織的、系統的な推進体制をより整備します。

(2) 中学校においては、個に応じたガイダンス機能の充実を図ります。



○ 兵庫型「体験教育」の推進

2 「心の教育」の充実に向けた体験活動の推進

(1) 地域教材を活用した「特色ある学校づくり事業（あさごドリームアップ事業）」により、地域に住む人々あるいは自然や歴史的な遺産等に触れる体験を通して、自尊感情や郷土愛の向上に努めます。

(2) 「トライ・やるウィーク」地域に活かす「トライやる」アクション等、人や社会とかわる活動を通して、公共の精神や協調性を育成し、思いやりの心や責任感を持って積極的に行動する力を育みます。

(3) 朝来市学校音楽祭、国際音楽祭をはじめ、県の事業である「わくわくオーケストラ」、「プロから学ぶ創造力育成事業」への参加等、芸術文化に触れる感動体験を通して、豊かな情操を育みます。

○ グローバル化に対応した教育の推進

3 国際化に対応した教育の推進



(1) 小学校における「外国語教育の先行実施」を推進し、国際社会の一員として様々な分野で活躍できる人材の育成を図るとともに、中核教員による授業公開等を通して研究内容を市内全校に広めていきます。

(2) 外国語指導助手（ALT）や外国人と連携し、外国語を用いたふれあいや対話を充実し、異なる国や文化の人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成します。

(3) 海外の学校や国内の外国人学校との交流などの国際交流事業を通して、異文化理解を推進するとともに、外国語を用いて朝来市を発信できる子どもの育成を図ります。

(4) ALTを中心とした「イングリッシュイベント」の開催により、英語に触れ、英語を活用する機会を増やします。

(5) 地域人材を活用した小学校英語教育充実支援事業を活用し、市内全ての小学校に外国語

教育コーディネーターを派遣することで指導力向上を図ります。

4 郷土の歴史や伝統、文化に触れる教育の推進

- (1) 伝統文化・芸能の体験や地域に根ざした行事への参加等を通して、郷土の伝統と文化に親しみ、地域の一員としての自覚を高め、ふるさと教育を推進します。
- (2) 「特色ある学校づくり事業（あさごドリームアップ事業）」を通して、地域の伝統・文化について理解を深め、自分の住む地域について誇りを持つとともに、それを発信できる力を育成します。

基本方針2

「生きる力」を育む教育の推進

○ 「確かな学力」の育成

5 「確かな学力」の育成

- (1) 校内研修の充実を図るとともに、小小連携推進事業や中学校教科別研究会における研究授業等を通して授業評価、授業改善へとつなげるなど、教職員の授業力向上に努めます。
- (2) 特別支援教育の視点を生かした授業のユニバーサルデザイン化の推進により、どの子にもわかる授業を行うとともに、習得、活用につながる指導方法等を研究します。
- (3) 児童生徒の姿や地域の実情等を踏まえ、各校の学校教育目標を実現するため、カリキュラム・マネジメントの在り方について研究します。
- (4) 全国学力・学習状況調査、朝来市学習定着度調査等の結果を踏まえ、主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善に取り組みます。
- (5) 地域人材と放課後の時間を活用し、学力向上を目指した「あさごがんばりタイム」に取り組みます。



家で、自分で計画して勉強している児童生徒の割合			
	H28年度	H29年度	H30年度
小学生(市)	59.9%	73.4%	76.1%
小学生(国)	62.2%	64.5%	67.6%
中学生(市)	42.6%	46.2%	42.2%
中学生(国)	48.4%	51.5%	51.5%

全国学力・学習状況調査結果

算数・数学の授業の内容はわかると答えた児童生徒の割合			
	H28年度	H29年度	H30年度
小学生(市)	74.4%	81.7%	86.2%
小学生(国)	80.2%	80.8%	83.4%
中学生(市)	55.8%	54.6%	62.8%
中学生(国)	68.7%	69.4%	71.0%

全国学力・学習状況調査結果

6 「ことばの力」の育成

- (1) 各教科のねらいや目標を踏まえながら、確かな学力と豊かな心を育む「言葉の力」を高める活動の充実を図り、思考力、判断力、表現力等を育成とコミュニケーション能力の伸長に努めます。
- (2) 学校図書館を計画的に活用し、主体的、意欲的な学習活動を展開するとともに、市立図

書館の連携にも努めます。また、司書教諭や図書担当者を中心に、知識を広げ思考を深める読書活動の充実を図り、家庭や地域とも連携して読書習慣を身に付けます。

- (3) 校内の掲示物や辞書、新聞等、学校生活全体における言語環境を整備するため、言語の役割や機能等について意識や関心をもたせ、話す・聞く、読む、書くの基本的な力の育成に努めます。

新聞を読んでいるの児童生徒の割合			
	H28年度	H29年度	H30年度
小学生(市)	51.6%	55.0%	54.0%
小学生(国)	45.2%	40.3%	39.1%
中学生(市)	45.0%	36.8%	35.1%
中学生(国)	36.0%	30.5%	29.6%

全国学力・学習状況調査結果



7 理数教育

- (1) 理数教育の魅力ある授業づくりの推進を図ります。県事業である「サイエンス・トライやる事業」の推進をとおして、専門性の高い教員を講師やと企業研究者等の専門家を学校へ派遣し、観察、実験の指導力向上を図るなど、教員指導力向上を図り、児童生徒の理科への興味・関心を高めます。
- (2) 科学に興味・関心が高い生徒をさらに伸ばすために、科学技術や理科、数学の知識・技能を競う「数学・理科甲子園ジュニア」等のコンテストやコンクールに積極的に参加します。

8 情報教育

- (1) 児童生徒が ICT を活用する学習活動を通して、「情報活用の実践力」、「情報の科学的な理解」、「情報社会に参画する態度」の3つの観点を相互に関連させる情報活用能力の育成を図ります。
- (2) 教職員の ICT 活用指導力及び指導力の向上を図るための研修会等を開催します。
- (3) スマートフォンや SNS の普及を踏まえ、適切なコミュニケーションや情報発信、共有の在り方や個人情報や著作権等の保護等を正しく理解させるため、家庭等と連携した情報モラル教育の充実を図ります。
- (4) タブレットや大型提示装置等 ICT 機器を活用し、児童生徒が主体的に学びあう授業を実施するとともに、キーボード入力やプログラミングを体験しながらコンピュータを活用した教育を推進します。

○ 「豊かな心」の育成

9 道徳教育

- (1) 学校教育全体を通して道徳教育を推進するため、学習指導要領を踏まえ、校長の方針のもと、道徳教育の全体計画を別葉とともに作成します。
- (2) 「特別の教科 道徳」を要とした道徳教育が展開できるように、道徳教育実践研修を実施し、道徳教育推進教師を中心に家庭及び地域との連携を図りながら児童生徒の道徳性を高めていきます。

- (3) 道徳の教科化に伴い、評価等の実践研修会を開催し、他者や自己との「対話」による道徳の授業の推進を図ります。

「自分にはよいところがあると思う」と答えた児童生徒の割合			
	H28年度	H29年度	H30年度
小学生(市)	75.6%	85.2%	91.7%
小学生(国)	76.3%	77.9%	84.0%
中学生(市)	74.1%	71.5%	81.2%
中学生(国)	69.3%	70.7%	78.8%

全国学力・学習状況調査結果

「将来の夢や目標を持っている」と答えた児童生徒の割合			
	H28年度	H29年度	H30年度
小学生(市)	75.2%	86.8%	89.5%
小学生(国)	85.3%	85.9%	85.1%
中学生(市)	74.8%	71.7%	68.4%
中学生(国)	71.1%	70.5%	72.4%

全国学力・学習状況調査結果

10 人権教育・多文化共生教育

- (1) 人権教育目標の実現のため、人権教育の全体計画及び年間計画の見直しを図り、各教科や総合的な学習の時間等、教育活動全体を通じて取り組むとともに、校内における推進体制を整え定期的に点検・評価を行います。
- (2) 個別的人権課題について、発達段階に応じて年間計画に位置付けるとともに、県の資料「ほほえみ」「きらめき」「HUMAN RIGHTS」を積極的に活用した授業を実施します。
- (3) 外国人の幼児児童生徒の日本語指導のため、子ども多文化共生サポーター等を活用するなど、多文化共生社会の実現をめざします。

11 環境教育

- (1) 「環境体験事業」や「自然学校推進事業」を推進したり、「出前授業」の活用を図ったりすることで、環境に関心を持ち理解を深め、命あるものとふれあう中での感動を通して生命の大切さや生命の連鎖を実感させ、自然に対する豊かな感性や命を尊ぶ心を育てていきます。



12 防災教育

- (1) 防災教育副読本等を活用し、防災訓練はもとより各教科等、教育活動全体を通じて防災意識を高め、防災教育の充実を図ります。
- (2) “みんなで守ろう地域の命” 朝来市が全市的に行う一斉避難訓練に積極的に参加するとともに、地域の災害特性や台風被害等を踏まえ、保護者や地域住民や専門機関と連携した学校防災体制の強化を図ります。
- (3) 阪神・淡路大震災や東日本大震災等を踏まえ、震災から得た教訓を語り継ぎ、生命に対する畏敬の念や助け合い、人間としての在り方生き方を児童生徒に考えさせる「1.17追悼集会」等に取り組みます。

○ 「健やかな体」の育成

1.3 体育・スポーツ活動

- (1) 体力向上推進委員会を開催し、朝来市の子どもたちの体力・運動能力の分析を行います。その結果を学校における体力向上に活用を図ります。
- (2) 「運動プログラム2009」等を活用したり、「週90分以上の運動」を目標にさせたりするなど健やかな体の育成を推進します。
- (3) 県事業である「体力アップひょうご」サポート事業の活用を推進します。各小学校のニーズに応じて「体力アップサポーター」を派遣し、学校教育活動における体育・スポーツ活動を充実させ、児童生徒の運動への興味・関心を高めるとともに、体を動かす楽しさや心地よさを味わわせ、自ら進んで「健やかな体」を育めるよう、運動習慣の定着を図ります。

(保健) 体育の授業が好きだと答えた児童生徒の割合			
	H28年度	H29年度	H30年度
小学生(市)	98.1%	96.4%	91.8%
小学生(国)	93.3%	92.7%	89.7%
中学生(市)	88.7%	88.4%	82.0%
中学生(国)	85.7%	85.7%	83.8%

全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

毎日、朝ごはんを食べている児童生徒の割合			
	H28年度	H29年度	H30年度
小学生(市)	94.2%	97.2%	95.8%
小学生(国)	95.5%	95.4%	94.5%
中学生(市)	96.5%	96.5%	93.6%
中学生(国)	93.3%	93.2%	91.9%

全国学力・学習状況調査結果

1.4 健康教育・安全教育

- (1) 「学校における食育実践プログラム(改訂版)」や「食育ハンドブック」「食物アレルギー対応マニュアル」等を活用とともに、栄養教諭をはじめ全ての教職員が連携し、教育活動全体を通じて食育を推進します。
- (2) 安全で安心して生活できるために、交通安全教室や喫煙、薬物乱用防止等の健康に関する教室や講習会などの開催を積極的に推進します。
- (3) 健康福祉事務所や民間企業などによる出前授業活動などを積極的に活用します。
- (4) 通学路や学校園の学習環境の定期的な安全点検、「学校給食における食物アレルギーマニュアル」に基づく、救急対応にかかわる校内体制を確立します。

○ 幼児期の教育の充実

1.5 幼児期の教育

- (1) 地域の状況や園の規模、教職員の構成等の実態を考慮し、幼児の発達の過程を見通した創意ある教育課程を編成・実施します。
- (2) キャリア教育の視点を盛り込んだ教育活動を推進します。

1.6 園・小連携

- (1) 幼児期の教育と児童期の教育の円滑な接続を進めるには、子どもの「発達」や「学び」に着目し、「生きる力」の育成のための教育課程・教育活動の連続性・一貫性を図ることに努めます。
- (2) 園児と児童の交流にとどまらず、接続期における教育課程の検討、指導方法等に関する

意見交換、合同研修会や保育・授業参観を通じた「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の共有等、双方の教職員による園小交流を充実し、円滑な接続を組織的に行います。



17 家庭教育

- (1) 園便りやホームページ等を通じて、自立を促す家庭教育の重要性を発信します。
- (2) 地域の支援力の活用等を行い、保護者や地域の方々と連携し、地域の中で信頼される園づくりを推進します。

○ 特別支援教育の充実

18 特別支援教育

- (1) 特別支援教育コーディネーターや通級指導教室担当者を中心として、特別支援学校や関係機関との連携を十分に図り、特別支援教育の充実と教職員の指導力向上に努めます。
- (2) 通常学級における「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」作成をより推進するなど、個別の教育的ニーズを把握し、きめ細かな教育的支援の実現に努めます。
- (3) 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築につなげるため、特別支援教育を着実に進めます。
- (4) 朝来市子ども教育支援センターや県立和田山特別支援学校との連携と積極的な活用を図り、教職員の専門性の向上を図ります。
- (5) 交流及び共同学習の推進に努めます。
- (6) 効果的な引継ぎ情報を活用した指導・支援の継続に努めます。
- (7) 適応指導教室の開設に向けた体制づくりに努めます。

基本方針3

子どもたちの学びを支える仕組みの確立

○ 学校の組織力及び教職員の資質能力の向上

19 教職員の協働体制

- (1) チーム学校園という認識の下、幼児児童生徒の変化を敏感に察知し、情報交換や連携を密にしながら多面的な理解に基づき組織的に指導します。
- (2) 学校園評価、学校園評議員制度の活用、家庭や地域との連携、関係機関との連携等により学校運営の改善を図るとともに、理解と信頼を得、それらの支援を得て、学校教育活動を充実させます。
- (3) 子どもたちと向き合う時間を確保するために学校業務改善に取り組むとともに、学校業務の効率化、教育の質的改善に資する校務支援システムを運用します。
- (4) 教職員一人一人の人権意識を高め、セクシャルハラスメント、パワーハラスメントのない職場環境づくりに努めるとともに、園児児童生徒の安全を守る体制の充実、危機管理機能を高めます。
- (5) 対話を重視した指導の実践「ノー部活デー」の完全実施とともに、部活動指導員配置促

進を検討します。

- (6) 朝来市中学校部活動ガイドラインの運用に準じて、実りある部活動指導の充実に努めさせる。

20 児童生徒理解に基づく生徒指導

- (1) 児童生徒の内面理解を図る校内教育相談体制等を充実し、問題行動の未然防止、早期発見及び早期対応を推進します。
- (2) 学校組織・分掌等のネットワーク化を図るとともに、関係機関との行動連携を推進し、組織的生徒指導の充実に努めます。
- (3) 県立「但馬やまびこの郷」との連携を密にし、不登校児童及び生徒の社会的自立に向けた支援を行います。
- (4) いじめの積極的な認知を図るとともに、「いじめ未然防止プログラム」を活用し、問題への早期対応を図ります。
- (5) チーム学校としての組織力の強化を図り、スクールソーシャルワーカー（全中学校区配置）の積極的な活用を推進します。

21 教職員としての資質能力と実践的指導力の向上

- (1) 教育公務員としての職務と自己の崇高な使命を自覚し、法令の遵守はもとより高い倫理観や公正中立な立場の保持、士気の高揚及び職場の活性化に努めます。
- (2) 「教育の専門家」として自己研鑽及び各種研修への参加を促すとともに、校内研修等でその還元を図り組織全体の専門性を高めるよう努めます。
- (3) キャリアステージに応じて専門知識、技能の習得をめざすなど、自主的、主体的に研修に取り組み、様々な課題への対応能力向上に努めます。
- (4) 教職員の指導力や専門性を高めるため、朝来市教育研修所事業の充実に努めます。
- (5) メンタルヘルス研修会等の開催や組織マネジメントにより、教職員の望ましいワークライフバランスを保持し教職員の資質向上に努めます。



○ 安全・安心な学習環境の整備

22 学ぶ場の整備

- (1) 学校園の施設整備及び施設の安全確保は計画的に進めます。また、学校施設の屋内運動場は、災害時に避難所として重要な役割を担うことから、天井材等非構造部材への対策を行うなど、安全で安心な学習環境の整備を図ります。
- (2) デジタル教科書等の準拠教材を整備するとともに、ICT環境の整備を進めます。

○ 家庭の教育力の向上及び地域で子どもを育てる環境づくりの推進

23 学校園・家庭・地域の連携

- (1) 園児児童生徒が安心して生き生きとした生活を送ることができるよう、基本的な生活・学習習慣の確立や家庭教育の大切さ等に関する情報を広報「朝来」等で提供したり、生涯学習講演会を開催したりするなど、家庭での取組の促進を図ります。
- (2) 保護者への子育て支援が行き届くよう環境整備や保育料の軽減措置を継続するとともに、

学童クラブの充実を図ります。

- (3) 地域自治協議会をはじめ地域資源の活用を図り、地域での子育て支援を充実させます。
- (4) 学校園便りやホームページ等により、学校園の情報発信を積極的に行い、学校園に対する理解を促すとともに、地域全体で子育てを推進する機運を高めます。
- (5) 市内全ての小・中学校に、学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）の導入に向けた準備を進める。また、学校・家庭・地域が連携・協働した「地域とともにある学校」づくりを推進します。

基本方針4

すべての市民が学ぶ生涯学習社会の形成

○ 生涯を通じた学びの機会・場の充実

2.4 生涯を通じた学びの充実

- (1) 市民のニーズに対応した生涯学習講座や教室の開講など生涯学習機会の提供を図り、学習意欲の向上と学習成果を活かした活力ある地域づくりを推進します。
- (2) 生涯学習推進員、社会教育委員など関係機関や社会教育団体との連携や活動の活発化を図り、市民が自主的に学び続ける生涯学習社会の構築を進めます。
- (3) 市内図書館と各学校との連携を深め、読書に親しめる環境整備に努めます。
- (4) 朝来市の歴史や自然、芸術、文化に触れる機会を充実します。また、朝来市少年少女オーケストラなどの活動を通じ、子どもたちの音楽に対する感性を磨くとともに、青少年の健全育成を図ります。
- (5) 青少年問題協議会を開催し、関係機関・団体との連携のもと青少年健全育成に取り組みます。
- (6) 人権教育を推進し、女性や子ども、障害のある人、高齢者、外国の人などへの人権にかかわる課題解決に向け、豊かな人権感覚、実践的な態度を培い人権文化の定着を図ります。
- (7) 豊かな人権感覚を養うとともに、命と人権を大切にする共に生きる心豊かな社会の実現をめざします。



○ 郷土の歴史文化遺産の保存・活用、継承

2.5 文化財の保存・活用・継承

- (1) 市内の歴史文化遺産の調査を行い、貴重な歴史文化を保護・継承していくため文化財への指定や登録を進めます。また、文化財に対する市民の保存・活用意識を高めるため普及啓発に努めます。
- (2) 茶すり山古墳や池田古墳など古代の王墓群、竹田城跡に代表される中世の城郭、近世・近代における生野鉱山（銀山）遺跡など地域の文化財群を総合的に活用し、情報発信することにより地域の活性化を図ります。

(3) 埋蔵文化財センター、歴史民俗資料館などを中心に、資料展示やふるさと学習の機会を提供します。また、郷土の歴史研究や国内外との歴史文化交流を推進します。

(4) 郷土芸能や伝統文化の保存継承のため、後継者の育成や活動を支援します。

○ スポーツの振興

2.6 生涯スポーツ環境整備

(1) スポーツ推進計画に基づき、市民の体力向上と健康づくりのため、子どもから高齢者まで、気軽に楽しみながら継続しやすい体操やウォーキング、レクリエーションとして体を使う遊びなど、幅広い世代や趣向、身体状況に応じて取り組める生涯スポーツの普及推進とスポーツを通じた地域の活性化を図ります。

(2) 各種スポーツ大会や教室を開催し、市民が意欲的にスポーツを行い、楽しさや感動を分かち合う機会を提供します。また、スポレク大会や体力測定会を実施し、効果検証の機会をつくります。

(3) 地域において、市民がスポーツに気軽に取り組めるようスポーツクラブ21の支援や活動を支えるスポーツ指導者、ボランティアの育成を図っていきます。

(4) 各種スポーツ団体等の育成・支援に努め、身体能力や競技力の向上を図るとともに、トップレベルのスポーツに触れる機会を創出し、市民のスポーツへの興味や関心を高め、活動意欲の向上を図ります。

(5) 地域にとって身近なスポーツ活動の場である学校体育施設の有効活用を図ります。また、安全で利用しやすいスポーツ施設の整備や効果的なスポーツ情報の提供を行いスポーツに親しむ環境の整備・充実を図ります。

健康に運動が大切であると答えた児童生徒の割合			
	H28年度	H29年度	H30年度
小学生(市)	98.8%	98.4%	92.9%
小学生(国)	96.7%	95.9%	90.7%
中学生(市)	96.0%	92.5%	85.0%
中学生(国)	96.0%	95.6%	88.6%

全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

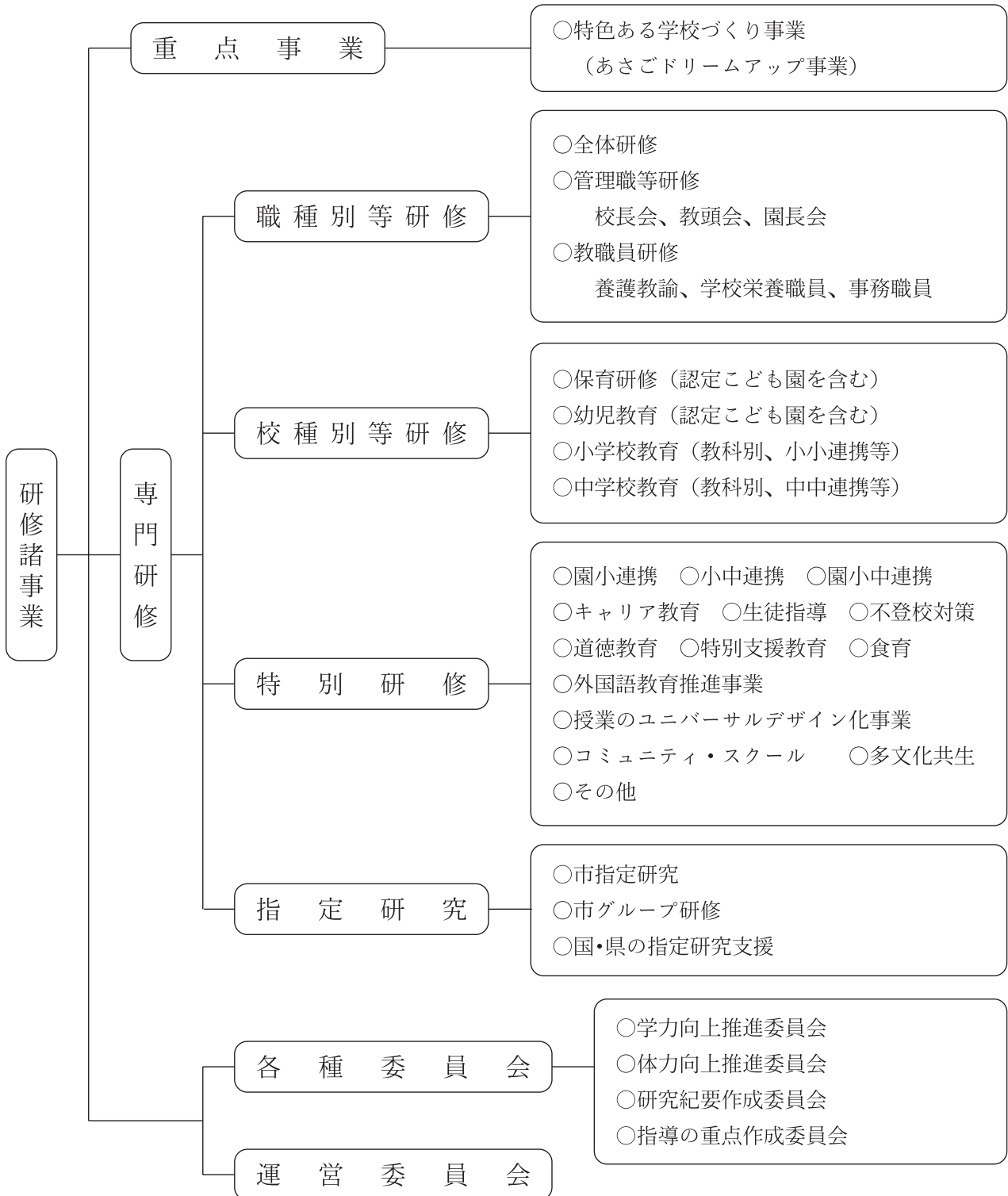
今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合			
	H28年度	H29年度	H30年度
小学生(市)	86.4%	86.1%	87.0%
小学生(国)	67.9%	62.6%	62.7%
中学生(市)	67.9%	63.9%	55.0%
中学生(国)	45.2%	42.1%	45.6%

全国学力・学習状況調査結果

朝来市教育研修所

2019年度 組織図及び事業概要

所 長：教育長
副所長：学校教育課長
事務局：学校教育課員



第2期 あさご夢・学びプラン		2019年度 指導の重点		
基本方針	基本的方向	項目	実践目標	実践項目
1 ふるさと自立を感謝し、未来に挑戦する態度の育成	社会的自立に向けたキャリア形成の支援	1 キャリア教育の推進	社会的自立に必要な態度や能力の育成 特別活動を要としたキャリア教育の充実 ASAGOING 人財育成プロジェクトの推進	キャリア教育年間計画の見直し、推進体制の整備、キャリアアップやキャリア教育指導資料等の積極的な活用と評価 ASAGOING ゼミU-18の活用
		2 体験活動	「心の教育」の充実に向けた体験活動の推進 地域活動に参画する態度の育成	特色ある学校づくり事業（あさごドリームアップ事業）、福祉体験、ボランティア活動、「トライ・やるウィーク」地域に活かす「トライやる」アクション、わくわくオーケストラ、学校音楽祭、プロから学ぶ創造力育成事業、自然学校、環境体験事業
	グローバル化に対応した教育の推進	3 国際化に対応した教育	英語をはじめとする外国語教育及び国際理解教育の推進 英語によるコミュニケーション能力の育成	外国語教育支援事業・国際交流活動、中核教員による研修会及び授業公開 小学校外国語教育の先行実施(2年目) 地域人材を活用した小学校英語教育充実支援事業 指導用映像資料を活用した校内研修の充実
		4 伝統と文化に関する教育	ふるさとを再認識する教育の推進 郷土の歴史や伝統、文化に触れる教育の推進	特色ある学校づくり事業（あさごドリームアップ事業） 「ひょうごこのごころ」の活用 郷土の歴史・文化遺産の活用
2 「生きる力」を育む教育の推進	「確かな学力」の育成	5 「確かな学力」の育成	児童生徒のつまづきの解消や系統性を重視した指導の充実 「主体的・対話的で深い学び」の実施に向けた授業改善の促進	授業評価・授業改善（「主体的・対話的で深い学び」の研究）・学習タイム・新学習システム等の推進、授業のUD化(朝来市モデル)の促進 学習定着度調査の活用、カリキュラムマネジメントの実現 あさごがんばりタイムの実施、学習習慣の定着
		6 「ことばの力」の育成 (言語に関する能力)	話す、聞く、読む、書くの基本的な力の育成 思考力・判断力・表現力等を把握し「ことばの力」を高める活動の充実 コミュニケーション能力の伸長	各教科等における言語活動の充実 読書活動の推進 言語環境の整備
		7 理数教育	魅力ある授業づくりによる理科、算数・数学好きの裾野の拡大 科学的に探求するための資質・能力の育成	サイエンス・トライやるの事業の推進、 「数学・理科甲子園ジュニア」、外部人材の活用、観察・実験の指導力向上
		8 情報教育	情報活用能力の育成 発達段階に応じた情報教育の推進 情報モラル・セキュリティ意識の醸成 ICTを活用した分かりやすく深まる授業の実現	ICT 活用指導力及び情報モラル指導力の向上のための研修、情報活用の基礎基本の定着、家庭等と連携した情報モラルの育成のための研修 ICT 支援員の増員配置、教育用パソコン導入に係る教員の対応力強化 プログラミング教育の推進 教科におけるICT活用教育の研究
		9 道徳教育	教育活動全体を通じた道徳性の育成 道徳科を要とした道徳教育の充実 他者や自己との「対話」による道徳の授業の推進	道徳教育全体計画及び別案の作成・推進 体験活動を通じた道徳性の育成 道徳科への実践的指導力の向上及び授業の充実 授業研究の充実(道徳実践研修等の活用) 道徳教育実践研究事業の推進 地域人材の活用
		10 人権教育・多文化共生教育	自他に対する肯定的な態度と「共生社会」実現に主体的に取り組む実践力の育成	人権教育の推進体制の整備と全体計画及び年間計画の見直し 発達段階に応じた人権教育の推進（「ほほえみ」「きらめき」「HUMAN RIGHTS」等の活用） 外国人児童生徒等に対する日本語指導の強化 いじめやインターネットによる人権侵害に対する理解の促進
		11 環境教育	地域の人材や自然・風土をいかした学習素材の積極的な活用	「新兵庫県環境学習環境教育基本方針」を踏まえた環境教育の推進 地域の特性を踏まえた環境教育の推進
		12 防災教育	防災教育・学校防災体制の充実 自分の命は自分で守り、主体的に行動できる子の育成	防災訓練等の実施、県版防災読本「明日に生きる」の活用、I.17追悼集会等、一斉避難訓練への参加、地域と連携した学校防災体制の強化、ボランティア活動の推進、心のケアに関する指導の充実、 教職員のカウンセリングマインドの向上を図る
		13 体育・スポーツ活動	生涯を通じて運動ができる資質や能力の育成 体力・運動能力の向上を図る態度を育む	体力向上推進委員会の開催、体力づくりプログラムの推進、 「新体力測定」(市全児童生徒対象)の実施と判定 「体力アップひょうご」サポーター事業の活用、学校体育指導の工夫・改善、(ジュニアスポーツ講習会の開催) 「3分間でわかる小学校体育授業動画」(兵庫県)等、効果的な指導法の動画を活用した体力・運動能力の向上

3	子どもたち の学びを支え る仕組 みの確 立	学校の組織力及び教職 員の資質能力の向上	1 4 健康教育・安全教育 1 5 幼児期の教育 1 6 園・小連携 1 7 家庭教育 1 8 特別支援教育 1 9 教職員の協働体制	生涯にわたる健康の基礎を培う 食育の組織的・計画的・継続的な推進 安全に対する意識の高揚、発達段階に応じた性教育の充 実 喫煙・飲酒・薬物乱用防止教室の推進 教育課程の編成及び実施 カリキュラム・マネジメントに基づく保育の展開 「発達」や「学び」の連続性、一貫性の推進 幼児期と児童期の円滑な接続の推進 家庭・地域との連携の推進 インクルーシブ教育システム構築に関する教職員の専門 性の向上 一人一人の多様な教育的ニーズに応じた教育の充実 交流及び共同学習の充実 効果的な引継ぎ情報を活用した指導・支援の継続 適応指導教室の開設に向けた体制づくり	食に関する年間指導計画の見直し（食育実践プログラム、食育ハンドブック、食 物アレルギー対応メニュー等の活用） 健康相談・保健相談の充実 安全に関する教室・講習会の実施、出前授業等の講習会の開催 学校給食におけるアレルギー対応メニューの活用 地域と連携した、学校保健活動の推進と学校安全体制の構築 創意ある教育課程の編成、実施、評価、改善を適切に行う 保育・授業参観等の園小交流事業の展開 ことも園保育教育の資質向上を図る研修の実施 積極的な情報提供による保護者、地域の理解 地域の教育力の活用や関係機関との連携、子育て支援活動の充実 管理職対象特別支援教育研修の実施 通常学級に在籍する支援を要とする児童生徒の「個別の教育支援計画」の見直し・ 活用の促進 「個別の指導計画」の見直し・活用の促進 特別支援学級担任対象研修の実施 特別支援教育コーディネーター対象研修会の実施 「朝来市子ども教育支援センター」の活用 ユニバーサルデザイン化の視点による教育的ニーズに応じた教育の充実 特別支援学校と小・中学校の連携、学びのサポーター対象研修会の開催
4	すべての市 民が学ぶ 学習社会の 形成	生涯を通じた学びの機 会・場の充実 郷土の歴史文化遺産の 保存・活用、継承 スポーツの振興	2 0 児童生徒理解に基づく 生徒指導 2 1 教職員としての資質能力 と実践的指導力の向上 2 2 学ぶ場の整備 2 3 学校・家庭・地域の連携 2 4 生涯を通じた学びの充実 2 5 文化財の保存・活用・継 承 2 6 生涯スポーツの環境整備	子どもと向き合う姿勢の確立 朝来市教育研修所事業、メンタルヘルス研修会の開催 校内研修、各種研修への参加及び還流 非構造化への対策、施設の計画的な整備 ICT 環境の整備 広報「朝来」の活用、教育講演会の開催、朝来市教育委員会 HP の活用 地域の教育力活用、情報発信、地域住民参画の促進 学校・家庭・地域の連携協力推進事業の活用 学校運営協議会制度の導入に向けた準備 市民講座等の開催、読書に親しむ環境の整備、生涯学習活動の推進・支援、人権 教育の推進、青少年の健全育成 文化財等の調査・啓発事業、歴史資料館・埋蔵文化財センターによる学習機会の 提供、竹田城跡・生野鉱山・古墳群等の歴史文化遺産の保存・活用、郷土芸能・ 伝統文化の保存継承 市民の体力づくりの推進、各種スポーツ大会の開催、生涯スポーツの普及推進、 スポーツ団体等の活動支援、体育施設の整備・有効活用 「ワーホリ・マスターズ・2021関西」に向けた生涯スポーツへの機運高揚	

2019年度朝来市教育事業

郷土に誇りを持ち、こころ豊かで自立した人づくり
— 次代につなぐ教育の推進 —

確かな学力

- 基礎的・基本的な知識及び技能の定着と「活用力」の向上
- 思考力、判断力、表現力の育成
- 将来の目標を持ち、主体的に学習に取り組む態度の育成

教職員の資質能力と実践的指導力の向上

- ・「チーム学校園」の認識の下、教育公務員としての職務と崇高な使命を自覚し、絶えず研究と修養に努め、自らの資質と実践的指導力の向上を図ります。

校種間等連携事業の推進

- ・就学前から系統的・横断的な教育をめざします。

学力向上をめざす授業改善

- ・全国学力・学習状況調査や朝来市学習定着度調査の結果を生かすとともに、特別支援教育の視点を生かした授業のユニバーサル化等を進めながら学力の向上を図ります。

外国語教育の推進

- ・小学校外国語教育教科化の先行実施を行うとともに、4技能（聞く・話す・読む・書く）の向上を図ることを目的に、児童生徒の英語能力の向上を図ります。

情報活用能力の育成

- ・ICTの活用、プログラミング教育、情報モラルに関する指導を位置づけ、児童生徒の情報活用能力の育成を図ります。

豊かな心

- 生命を尊び、他を思いやる心の育成
- 感動あふれる体験活動の推進
- 国際性に富み、情報化社会で生きる力の育成

心に響く体験活動の推進

- ・ふるさとの自然や文化・人々と触れ合う体験活動を通して、ふるさとを愛する心を醸成します。

道徳教育の推進

- ・「特別の教科 道徳」を通して規範意識や思いやりの心など道徳性を身に付けるとともに、いじめ・不登校ゼロをめざして組織的な取組を推進します。

健やかな体

- 体力づくりプログラムの推進
- 地元の食材を生かした食育推進事業の展開

体力向上に向けた事業の推進

- ・基礎的な体力の向上を図り、粘り強く挑戦する気力・体力の向上をめざします。

地元の食文化の利活用の推進

- ・家庭や地域と連携し、健康な体づくりをめざします。

特色ある学校づくり事業(あそびドリームアップ事業)の推進

授業のユニバーサルデザイン化の推進

キャリア教育の推進

市内全小・中学校のコミュニティスクール化（学校運営協議会制度導入）への準備

市内の学校園

～ こんな取組をしています ～

<こども園>

生野こども園

<紹介> 小学校との連携



隣接する小学校とはPTAが一緒に、行事を通して子ども同士も気軽にかかわりをもてる良さがあります。また、登園時の見守り、毎月の絵本ボランティア、地域やイベントでの交流活動など、地域の方々とも日頃から交流がもてています。大好きな生野の町で地域の方々に温かく見守っていただきながら、いのち「個性」を輝かせ、生き活きと活動できる子の育成をめざして日々取り組みを進めています。

糸井こども園

<紹介> さつまいも掘り（異年齢児のふれあい）



『異年齢児とのかかわりを通してたくましく主体的に行動する子の育成』を目標に、園児が様々な活動の中での異年齢のふれあいを通して、相手のことを思う優しさや温かい心を育み、一緒に考えたり教え合ったりしながら自主的に行動できるように取り組んでいます。また、動植物の飼育栽培を通して命の大切さに気付いてほしいと願い取り組みを進めています。

大蔵こども園

<紹介> 地域のお年寄りとの交流会



恵まれた環境の中で、家庭や地域の人々との触れ合いや体験活動を通し、たくましい心と体を育てることを目標に、教育・保育に取り組んでいます。また、一人一人の育ちを踏まえ、家庭との連携を大切にしながら、基本的な生活習慣や規範意識の定着をめざしています。

東河こども園

<紹介> 異年齢児遊び（3・4・5歳児交流）



平成30年度より、朝来市教育研修所の指定を受け「主体的に遊べる環境づくり～生き生きと遊ぶ子どもたち～」をテーマに、園児一人一人の興味や関心を大切にしながら、生きる力の基礎を培う教育保育に取り組んでいます。活動の過程で、意欲や態度を育んだり、地域交流・異年齢児遊びなどを通して、心豊かに明るく思いやりのある東河っ子の育成をめざしています。

竹田こども園

<紹介> 地域の方との交流（竹とんぼで遊ぼう！）



歴史のある地域の中で積極的に地域に出かけ地域を知ると共に、地域の方や友達とのかかわりを大切にした教育・保育を行っています。また「かかわる力 学ぶ力 生活する力」を育てるために、家庭と連携して基本的な生活習慣の定着や運動遊びやふれあい遊びを工夫し、年齢に応じた身体作り体力づくりを目指しています。

中川こども園

<紹介> 5・5交流会（ころがしドッジボール）



昨年は兵庫県教育委員会から「幼小の円滑な接続推進事業」の実践協力園の指定を受け、隣接する中川小学校と円滑に接続できるよう交流活動を深めました。今年度は昨年以上に小学校と連携をとりながら、様々な交流活動やUDの共有化の充実を図ります。また、防災についても共通意識を持ち、災害に備え協力して避難できる体制作りや訓練に取り組んでいます。

山口こども園

<紹介> 岩津ねぎの収穫（食育活動）



山口こども園は広い園庭に四季折々の木々があり、季節を感じさせてくれます。桜の花びらや銀杏の葉、柿やどんぐりを拾い集めて遊び、園庭ではサッカーやドッジボールも楽しみ、体を思いっきり動かしています。地域の老人会の方の指導を受け特産物の岩津ねぎを園の隣の畑で栽培収穫しクッキングをして味わいます。

<小学校>

生野小学校

<紹介> ふれあい音楽会（あさごドリームアップ事業）



生野町出身の講師による歌唱指導も受けながら、毎年地域のホールを使用し「ふれあい音楽会」を開催しています。子ども達の澄んだ歌声は、保護者や地域の方々の心まで届き、魅了しています。生野の誇りとなっています。今年度も保護者・地域に支えられながら、一人一人の子どものやる気を大切にふるさとを愛する児童育成に取り組めます。

糸井小学校

<紹介> 特色ある学校づくり事業（あさごドリームアップ事業）



糸井小学校では、「夢をもち、ふるさと糸井再発見」をテーマに、ふるさと糸井を愛する児童の育成に取り組んでいます。地域に出かけたり、地域の方を講師に招いたりして、様々な体験活動を行いふるさとの良さを発見しています。また、これらの体験活動を通じて、課題に対して自ら学ぶ力を培い、自分の夢に向かって努力する児童の育成を目指します。

大蔵小学校

<紹介> 「じろはったん」いとおしむ心を大切に



146年の歴史と伝統をもつ本校では、校訓である「強く 明るく のびのびと」をもとに、ふるさとを大切にする児童が育っています。本校で教鞭をとられた児童文学作家の森はな先生の代表作「じろはったん」には、郷土への愛や人を思いやる優しさがたっぷりと盛り込まれています。こうした「いとおしむ心」は地域に浸透し、本校教育の根幹となっています。

枚田小学校

<紹介> 外部講師による鉄棒の指導



朝来市在住の外部講師による特色ある学校づくり事業（あさごドリームアップ事業）を継続しています。鉄棒、水泳、跳び箱、マット運動などを指導をいただいています。昨年は、子どもたちが何度も逆上がり挑戦する姿を見ることができました。「体幹タイム」も継続し、学びに向かう体力作りも続けています。授業のUD化に取り組むと共に、道徳や特別活動などでライフスキル教育にも取り組んでいます。

東河小学校

<紹介> 東河青龍太鼓（フルサト…心づくり）



東河小学校はあと2年後、2021年に創立150周年を向かえます。「東河青龍太鼓」も親子2世代でたたく事ができる歴史があります。低学年から練習し中・高学年での演奏レベルも年々向上しています。壱岐市箱崎小学校との相互交流も4年目となります。こどもレベルで壱岐市との交流事業を支え、発展させていきます。地域の皆さんに多くの支えをもらいながら、やがて「フルサト東河」へ帰ってくる「こころ豊かな東河っ子」の育成に取り組めます。

竹田小学校

<紹介> 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）



竹田小学校は、但馬で最初にできたコミュニティスクールです。家庭・地域等と連携して子どもたちを育む学校です。運営協議会委員には、竹田城跡保存会会長、竹田地区区長会会長、竹田っ子育成部会部会長、児童民生委員、福祉施設長、竹田こども園長、PTA 会長・副会長で構成され、校長の学校経営方針「命輝く、こころ豊かで自立した児童の育成」の承認を得て、学校運営がされています。

梁瀬小学校

<紹介> 「こころ豊かな児童を育む縦割り班活動」



こころ豊かな児童を育成するため、異年齢（1～6年生）で構成された集団「縦割り班」で様々な活動を展開しています。4月の遠足を皮切りに、清掃やレクリエーション等の活動を通じて、社会性やコミュニケーション能力の向上、そして児童の絆づくりを行っています。児童会活動でも自主的活動を各種行事（梁小フェスティバルや大運動会、児童集会活動など）で展開し、自己有用感や規範意識の醸成に努めています。

中川小学校

<紹介> UD化を図った外国語活動



学びに向かう力・人や社会と関わる力の育成に力を入れ、生きる力を育みます。人権教育を教育活動の根底に据え、UD化、外国語活動に重点を置き、一人一人をいかした、主体的・対話的で深い学びのある授業づくりに努めます。また、「腰骨立てて やさしく 強く より高く」の校志のもと、体幹を鍛え、集中が持続する姿勢と精神力を培います。

山口小学校

<紹介> ふるさと学習



「学ぶことが楽しい学校」を教育目標に掲げ、教育活動を行っています。「播但貫く 鉱石の道」「羽渕獅子舞」「岩津ネギ」等、歴史と文化に支えられ、実業家原六郎氏、オリンピック入賞者小谷澄之氏、文化功労者淀井敏夫氏を輩出した地域にあります。校区の恵まれた教育資源を活用し、家庭や地域の協力を得ながら「ふるさと教育」に取り組んでいます。

<中学校>

生野中学校

<紹介>福祉体験・ボランティア活動



毎年、全校生が夏休みを利用して、地域にある福祉施設を訪問しボランティア活動を行っています。以前は3年生のみの活動でしたが、小人数となった5年前からは、生徒会が中心となり、全校生で取り組むようになりました。これが地域の福祉への理解と地域の一員としての積極的な行動へと繋がっています。昨年、これにより但馬青少年本部長表彰を受賞しました。

和田山中学校

<紹介> 体験授業で6年生に手ほどきしています。



本校では、創立50周年に制定された校訓「自立、敬愛、創造」の実現に向けて、生徒会活動を中心とした生徒の自主的・主体的な取組とわかりやすく参加しやすい授業のユニバーサルデザイン化の取組を継続して行っています。生徒会では、入学説明会や体験授業で先生と一緒に6年生をサポートしたり、2月に行われる竹田城の清掃ボランティアに参加したりと積極的な活動をしています。

梁瀬中学校

<紹介> 活発な意見が飛び交う職員研修（指導力向上）



平成30年度に道徳教育実践校に指定され、日本道徳教育学会近畿支部顧問の行本美千子先生を専属の講師に迎え、特別の教科「道徳」について研究を進めてきました。今年度は、さらに深化する年。再び、行本先生のご指導を仰ぎながら子どもたちの心に迫る授業を探っていきます。この取組を通して、今後、進化発展していく社会の中でよりよく生きていくための「豊かな心」「確かな学力」「健やかな体」の基盤を育てていきます。そして、みんなが楽しいと感じる学校づくりをめざします。

朝来中学校

<紹介> ボランティア活動



学校と地域とのつながりも強く、生徒たちは伝統行事やボランティア活動に積極的に参加しています。「ダム湖マラソン」のボランティアには、ほとんどの生徒が参加し「朝来夏祭り」の翌日には、全校生が夏祭りの会場の清掃活動に取り組んでいます。子どもたちを支え、郷土を大事にし、自立した生徒となるよう、学校と地域が一体となって育んでいきます。

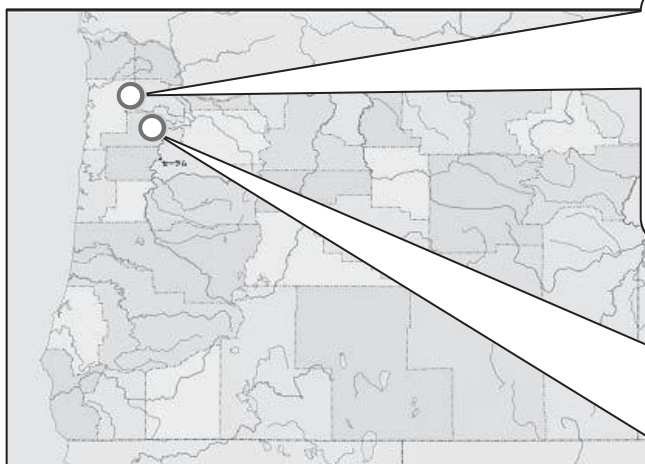
2019年度 特色ある学校づくり事業(あさごドリームアップ事業)計画一覧表

学校名	事業内容
生野小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・「栃の実太鼓」、「石刀節」の学習 ・生野ふるさと講座(詩吟) ・ふれあい音楽会開催 ・交流田における農業体験(田植え・稲刈り・収穫祭)
糸井小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・寺内ざんざか踊り、雅楽の観賞、箏・尺八の演奏 ・昔の遊び体験、稲作体験(田植・稲刈・脱穀)、さつまいも栽培体験 ・アゲハチョウの生態観察、糸井溪谷の野鳥観察 ・和田山郷土資料館の見学、糸井の歴史講話
大蔵小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・「じろはったん米」の田植え・稲刈り、シソ・黒豆栽培 ・地層・鉱物・化石観察 ・茶道体験、能・雅楽・尺八鑑賞、箏の鑑賞・体験 ・「じろはったん」紙芝居、歌物語「じろはったん」、木の葉の船プロジェクト
枚田小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・琴・尺八の鑑賞・体験、雅楽の鑑賞 ・赤ちゃん先生プロジェクト ・市内在住の器械運動指導の堪能な方による器械運動学習
東河小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会や学校音楽祭、オープンスクール等に向けての青龍太鼓の練習と発表 ・壱岐市立箱崎小学校との交流事業(箱崎小学校への訪問・箱崎小学校の来校)
竹田小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・昔の遊び、わら細工づくり ・栽培野菜等のクッキング ・お正月伝統料理 ・山桜再生プロジェクト ・虎臥陣太鼓体験 ・パンジー・葉ボタン栽培 ・箏・雅楽の学習
梁瀬小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・米づくり体験(田植えと稲刈り) ・扇子踊り体験 ・日本の伝統音楽(雅楽・琴)体験 ・岩津ねぎ・黒大豆の栽培体験 ・朝来特有の岩石調べ
中川小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・礼儀作法教室(茶道教室) ・書道の実技指導と講話、大筆体験、書写指導 ・アンサンブル・ロンドの演奏 ・朝来の芸術家による講話と実技指導 ・岩津ねぎ・ピーマンの栽培・収穫・調理
山口小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・岩津ネギ栽培 ・鉱石の道等の講話、羽瀨獅子舞の鑑賞、和楽器学習等 ・おもしろ理科実験 ・俳句講座 ・書写教室 ・学校シンボルツリーの楠でツリークライミング
生野中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・生野町内フィールドワーク、ハンザキ研究所等(1年) ・若宮正子氏講演会(全員) ・生野書院で郷土学習(生野の歴史の講和)と茶道体験(2年) ・史跡生野銀山の見学(3年)
和田山中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・市観光大使の笑福亭鶴笑氏による講演会
梁瀬中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業(グンゼ梁瀬工場等)を訪問 ・外部講師授業(美術・技術) ・「ふるさと愛と職業魂」パネルディスカッション(地元で活躍する元気な人から学ぶ) ・ハローワークからみた職業選択 ・映像作家(藤原氏)による講演
朝来中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動「朝中ソーラン」の指導 ・全校ボランティア活動(朝来夏祭りの後片付け) ・故郷「朝来」をテーマにした美術作品の制作 ・人権講演会 ・性教育講演会(性に対する知識と、ユニバーサル社会を築く人権感覚を育む人材育成の観点)



～ 世界へはばだけ
あさごフレンドシップ 2019 ～

<アメリカ合衆国・オレゴン州>



アメリカ・オレゴン州・ポートランド市：
マウント・テーバー・ミドルスクールとは梁瀬
中学校が平成9年から交流を継続しています。
平成22年からは生野中学校、平成27年度から
は朝来中学校も加わり生徒間の交流をさらに
充実させています。

アメリカ・オレゴン州・ニューバーグ市：
シャヘイラムバレー・ミドルスクールとは、
前進のスプリングブルック・ミドルスクール
と和田山中学校との平成2年の姉妹校提携から
交流を継続しています。

*平成12年
旧和田山町と姉妹都市提携

<中華人民共和国>



中華人民共和国・内モンゴル自治区：
蒙古族学校と和田山中学校で昭和63
年に姉妹校提携を契機に交流を継続
しています。近年は、毎秋、フフホ
ト民族学院から教師と学生を日本語
研修生として招聘し、和田山中学校
を拠点に市内の小・中学校を訪問し
ています。

<カナダ>



カナダ・オンタリオ州パース町：
平成20年、朝来市と姉妹都市提携を
行い、継続的に交流を図っています。
(2016年度町制200周年)

*平成12年
旧朝来町と姉妹都市提携

誇り高き故郷「あさご」

◎朝来市の木 けやき

◎朝来市の花 桜

◎朝来市の特産品

- ・ 岩津ねぎ
- ・ 朝来みどり（茶）
- ・ 地酒
- ・ 特製みそ
- ・ 生野紅茶
- ・ からみあめ
- ・ しょう油
- ・ よもぎうどん
- ・ かぐら漬け
- ・ やくの高原漬け

朝来市の歌

作詞 稲岡 俊一
補作詞・作曲 小椋 佳

一
川(かわ)の流(なが)れの恵(めぐ)みもうけて
栄(さか)え続(つづ)けて今(いま)がある
四季(しき)の彩(いろど)りあやなす自然(しぜん)
愛(あい)を皆(みな)みふれあって
心(こころ)ひとつに進(すす)み行(ゆ)く
われら朝来市(あさご)あがるい未来(みらい)

二
歴史(れきし)文化(ぶんか)の香(か)いのせて
みこい豊(ゆた)かな風(かぜ)がある
古墳(こふん)城跡(しろあと)また銀鉱山(ぎんこうざん)
栄華(えいご)の昔(むかし)糧(かて)として
明日(あす)のしあわせ築(きず)き行(ゆ)く
われら朝来市(あさご)かがやく未来(みらい)

三
働(はたら)く苦勞(くろう)よろこびにして
流(なが)れ芽(め)には夢(ゆめ)がある
命(いのち)きらめくこの理想(りそう)戀(きょう)
暮(く)らしは活気(かっき)満(み)ち満(み)ち
若(わか)い力(ちから)も伸(の)びて行(ゆ)く
われら朝来市(あさご)た(お)きな未来(みらい)

産業・特産

● 酒蔵

市内には2軒の歴史ある造り酒屋があり、いずれも豊かな自然の中、代々受け継がれてきた杜氏や蔵人達の技によって、個性豊かな味わい深い地酒が造られています。

● 地場産業場 竹田の家具

和田山町竹田の家具づくりの歴史は、およそ400年前に竹田城主、赤松広秀が漆器づくりを奨励したことが始まりと言われています。

近年は卸向けの大量生産から小売へと転換し、直接お客様と対話しながらニーズに合わせられる手作り家具が好評です。

● 金属バネ工業

第二次世界大戦中に大阪のスプリング工場が疎開してきたことから始まったものです。日本の高度成長とともに発展し、今日では、コンピューター用のわずか数ミリのものから、工業用の大きなスプリングまで出荷しています。

● 岩津ねぎ

岩津ねぎの歴史は古く、江戸時代に生野銀山の役人が京都に出向いた際に九条ねぎの種を持ち帰ったことが始まりといわれ、銀山労働者の貴重な冬の野菜供給源となっていました。

現在、商標権を取得している「岩津ねぎ」は朝来市のブランド商品として確立しました。ラベルの統一や徹底した品質管理のもと、食の安全・安心を確保し、消費者に良い品、安全な品を提供していくために、積極的な振興策を展開し、生産と販路の拡大を図っています。

郷土が生んだ日本を代表する彫刻家

淀井敏夫（明治44年～平成17年）

明治44年に朝来市佐中で生まれた淀井氏は、昭和8年に東京美術学校（現東京芸術大学）彫刻科を卒業。昭和11年の第23回二科展に「仕事着の青年」を初出展。昭和23年の第33回二科展では、出品作品「老人胸像」で二科会特待賞を受賞。昭和40年（1965年）には東京芸術大学教授に就任。昭和48年の第58回二科展への出品作品「砂とロバと少年」で、内閣総理大臣賞を受賞。昭和53年に東京芸術大学教授を退官、同大名誉教授となります。長年の創作活動と芸術発展への功績により、昭和58年に勲三等旭日中綬章を受賞、平成13年には文化勲章を受章されました。主な作品に「飛翔」などがあります。

日下寛治 (大正6年～平成18年)

和田山町林垣出身。昭和8年の日展初入選を皮切りに日彫賞など数多くの賞を受賞。日本美術家連盟会員、日本彫刻倶楽部会員(昭和8年)、日本彫刻会会員(昭和22年)として文展4回、日展22回の入選を重ね、日展無審査彫刻家として多くの作品を制作し活躍しました。寺谷橋左岸の「友愛」の像など多くの作品を郷土に残しています。

郷土が生んだ日本を代表する画伯「生野三画伯」

明治近代画壇へ大きな功績を残した生野町出身の白瀧幾之助、和田三造、青山熊治の三画伯は、郷土が誇る偉大な文化人です。

白瀧幾之助 (明治6年～昭和35年)

生野町奥銀谷で生まれ、父は浜沖之助、鉦山師でした。小学校を卒業後、工学士を夢見て上京しますが、明治23年、和田三造の兄、正造の勧めもあり画家になることを決意。東京美術学校を卒業後、明治37年から7年間欧米にわたり、イギリス水彩画の影響の強い滞欧作を数多く残しています。また、留学中に知り合った三井高精を助け、多くの新進画家の作品を「三井コレクション」に加え、後進の育成にも力を注ぎました。代表作は「稽古」(明治30年)。

和田三造 (明治16年～昭和42年)

生野銀山鉦業所の勤務医や校医を勤めた文碩とその妻秀の四男として、生野町で生まれました。明治42年から大正3年まで文部省美術留学生として渡欧、帰国後は文展、帝展の審査員を務めるかたわら、染色図案を中心とした装飾工芸の研究にも力を入れました。昭和33年、文化功労者として表彰されました。代表作「南風 (nampu)」(明治40年)は、明治という時代を象徴する記念碑といわれています。

青山熊治 (明治19年～昭和7年)

生野町口銀谷生まれ。大正3年～11年まで西欧各地での修業後、大正15年第7回帝展に、500号の大作「高原」を出品。特選と帝国美術院賞を受賞して脚光を浴びました。

ルノワールやセザンヌの影響を受け、寒色系の統一された色調と力強い描写で、モニュメンタルな大画面を構成しました。生野町に帰郷中、九州大学壁画がほぼ完成した昭和7年、46歳の若さで急逝、短い生涯をとじました。代表作の一つ「高原」(大正15年)。

芸術・図書館・文化ホール

●あさご芸術の森美術館



雄大なロックフィルダム(多々良木ダム)の直下に位置し、美術館には、展示室とアトリエ室、芸術等の情報を提供する情報コーナーがあり、朝来市出身の彫刻家、淀井敏夫氏(1911-2005、文化勲章受章者)の生涯作品を屋内外に常設展示するほか、さまざまな企画展やイベントを開催します。美術館周辺は散策やサイクリングにも最適です。

●和田山図書館

但馬初の本格的な図書館として平成7年にオープンしました。現在、蔵書約14万2千冊、建物は木材を使用した設計で、心地よい読書環境を整えています。市内図書館のインターネットでの蔵書検索及び予約貸し出しも可能です。

●あさご森の図書館

平成17年にオープン。約5万2冊の蔵書を整備し、ゆったりと読書できる空間を設けており、家具も木製を基本として、温かみのある雰囲気を醸し出しています。建物は地球温暖化防止のための対策技術を用いたエコハウスであり、地域住民の方が書籍等を通じてさまざまな学習活動を行う生涯学習施設としての図書館でもあります。

●和田山ジュピターホール

芸術の理解に欠かせない優れたホールで、1年を通じて各種公演を行っています。「ジュピター」はローマ神話の主神・太陽系最大の惑星である「木星」、モーツァルトの交響曲第41番の愛称に通じています。大ホールは800人収容のワンスロープ方式、小ホールは200人収容のワンフロア方式です。楽屋・会議室・研修室・和室を備え、子育て支援ルームも開設しています。

歴史文化遺産

近畿最大級の円墳 茶すり山古墳（国指定史跡）

和田山町筒江



茶すり山古墳は、5世紀前葉の大型円墳で、円墳としては近畿地方最大規模を有しています。直径約90メートル、高さ約18メートルの円墳で、2段に築成されていたと考えられます。

墳頂には東西約36メートル、南北約30メートルの楕円形の広い平坦面があり、そのやや内側に、円筒埴輪や朝顔形埴輪が巡り、段築平坦面にも埴輪が列状に並べられ、斜面には葺石も見られます。また、墳頂部には2つの埋葬施設があり、大型とより小さい主体部が並んでいます。

調査の結果、墳丘の規模や中心埋葬施設の内容が判明し、ヤマト王権と強く結びついた首長の墓であることが確認されています。

但馬最大の前方後円墳 池田古墳（県指定史跡）

和田山町平野



和田山町平野にある池田古墳は、但馬の中で最も大きな前方後円墳で、兵庫県でも4番目の規模を有します。現在までの発掘調査で、葺石・埴輪・周濠を備え持つ古墳であることに加え、造り出しや渡り土堤といった構造物の存在が判明しました。出土した埴輪の中に、但馬地域では初めての水鳥形埴輪や復元すると1mを越える家形埴輪などがあります。

全国屈指の山城遺構 竹田城跡（国指定史跡）

和田山町竹田



竹田城跡は、天守台を中央に南千畳・北千畳・花屋敷が放射線状に配され、城の築かれている山全体が、虎が臥せているように見えることから「虎臥城」とも呼ばれています。

標高353.7メートルの山頂に位置する竹田城跡は、嘉吉年間(1441-43年)に但馬の守護大名・山名宗全が築いたとされ、太田垣氏が7代にわたって城主となりましたが、織田信長の命による秀吉の但馬征伐で天正8年(1580年)に落城。その後、最後の城主赤松広秀の頃に豪壮な石垣城郭として整備されたと考えられます。

縄張りの規模は南北400メートル、東西100メートルにおよび、完存する石垣遺構としては全国屈指のもので、平成18年(2006)には日本城郭協会により「日本100名城」に選定されました。自然石を巧みに配置した野面積みの石垣は、400年を経た今でも当時の威容を誇っています。

また、竹田城跡周辺での朝霧は但馬地方の風物詩となっており、雲海に包まれた姿は、「天空の城」として全国に名を馳せています。

最近では、この美しい風景を求めて来訪者が急増し、平成26年度は約60万人が訪れました。現在は、史跡保護と観光振興の両立を図りながら、竹田地域の活性化を進めています。

幕府の直轄鉱山として栄え、日本の近代化を支えた 生野鉱山

生野町小野

生野鉱山は、大同2年(807)に開坑したと伝えられています。織田～徳川幕府の直轄鉱山として栄え、明治元年(1868)には日本最初の官営鉱山となり、西洋の最新技術によって政府の財源を支えました。その後は皇室財産、明治29年(1896)からは三菱合資会社によって採掘が進められた日本を代表する大鉱山です。

昭和48年(1973)に閉山しました。現在は、実際に掘られていた坑内に入り、当時のままの岩肌や、GINZAN BOYZたちにより再現された作業風景を見ることができます。



生野鉱山及び鉱山町の文化的景観（国選定重要文化的景観）

生野町口銀谷他



生野鉱山と鉱工業によって作られた営みとともに発展してきた鉱山町は、平成26年(2014)3月に、兵庫県で初めて国の重要文化的景観に選定されました。

生野は、国内の多くの鉱山町が閉山とともに衰退していくなかで、400年以上にわたり採掘・製錬・輸送といった鉱工業が続けられ、今もなお、鉱山とともに生き続ける

現役鉱山都市です。日本における生活・生業の在り方を理解するうえで欠かすことのできない文化的景観として、その価値が認められました。これからも生野に住み続けることが、鉱山町の文化、生活風習とともに景観を守っていくことに繋がります。

日本遺産「播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道」



平成29年(2017)4月、朝来市は姫路市、福崎町、市川町、神河町、養父市とともに、日本遺産「播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道」の認定を受けました。

姫路・飾磨港から生野へ至る「銀の馬車道」と南但馬の鉱山群を結ぶ「鉱石の道」。姫路から日本屈指の鉱山群を目指す73kmの旅をストーリーにしたものです。明治日本

の近代化を支え、鉱山資源大国日本の記憶を現在に残すこの道は、今後、郷土の誇りを強くし、地域の観光振興を進めるものとして、活用していきます。

銀の馬車道（生野鉱山寮馬車道）



生野鉱山に必要な石灰や鉱山資材などの物資を運ぶために造られた日本最初の「高速産業道路」です。明治9年(1876)に生野から姫路・飾磨港まで、全長49キロメートルが開通。物資だけでなく、人や文化、情報が行き交うことで、この道沿いの多くの宿場町が発展しました。現在は「銀の馬車道」の名で親しまれています。

鉾石の道



明延鉾山で採掘・破碎された鉾石は電車で神子畑選鉾場へ運ばれて選鉾され、錫のインゴットを作るため鉾石輸送軌道で生野精錬所に運ばれていました。鉾石や従業員を運んだ明神電車(一円電車)、神子畑と羽瀧の鑄鉄橋は、日本の産業遺産として貴重です。

朝来市では明延・神子畑・生野の産業遺産をめぐるルートを「鉾石の道」と命名し、産業遺産の活用に取り組んでいます。

日本最古の全鑄鉄製の橋 神子畑鑄鉄橋 (国重要文化財)

佐囊



明治18年(1885)から2年間にわたる工事によって生野鉾山と神子畑鉾山を結ぶために神子畑川に架けられたもの。現存する鉄橋の中では日本で3番目に古く、全鑄鉄橋としては日本最古を誇ります。下から見上げるとフランスのエッフェル塔の骨組みに似ています。

生野義挙碑

生野町口銀谷



文久3年(1863)10月の生野義挙(生野の変)の事跡を後世に伝えるため、昭和15年(1940)に代官所跡地に碑が建立されました。この生野義挙は、明治維新の魁となったと言われています。

水月院 (元文一揆と壱岐の島)

和田山町野村



元文3年(1738年)、生野代官の支配下で百姓一揆「元文一揆」が起こります。和田山町野村出身の小山弥兵衛は、この一揆の首謀者の一人として捕えられ、長崎県壱岐島へ流罪となりました。のちに、小山弥兵衛の孫娘が、弥兵衛に会うために出家し、全鏡と名を改め壱岐島に渡りました。そして3年後、83歳で弥兵衛が亡くなると、遺骨を携えて帰郷。まもなく、円明寺(和田山町宮)の門に入り、法名を心諒と改め、水月庵(現 水月院)を再興したといわれています。

進藤家住宅 (千年家) (市指定文化財)

佐囊



明治・大正時代に財界で活躍した「原六郎(進藤俊三郎)」の生家で、通称「千年家」と呼ばれています。江戸時代前期の建築物と考えられ、柱や梁が太く、天井の低い造りとなっています。使い込まれた囲炉裏やすすで染まった天井や建具、家財道具などが、歴史を物語っています。

大明寺

生野町黒川



大明寺は、臨済宗妙心寺派の名刹として貞治6年(1367)、美濃の月菴和尚が開いたと言われるお寺です。

南北朝の時代に建立されたと伝えられる開山堂は、萱葺入母屋造りで、中央に仏像がまつられ、奥には、月菴和尚と山名時熙の木造が安置されています。開山自賛画像、徳川家光からの御朱印状や慈母観音なども残されています。

延応寺

生野町口銀谷



延応元年(1239年)に創建された寺で、町内に現存する寺の中では、一番古い真言宗の寺です。四条天皇が時の名をとって名前をつけられたという、由緒深い古刹です。境内にある観音堂の前の大欅は、樹齢数百年と推定され、県の天然記念物にも指定されています。

赤淵神社（国指定重要文化財）

和田山町枚田



枚田内高山のふもとに鎮座する赤淵神社の本殿は、室町時代初期に建てられた式内社で、国の重要文化財に指定されています。三間社流造り、こけら葺、墓股(かえるまた)、懸魚(げぎょ)、妻窓などに当時の建築様式を残しています。

當勝神社（まさかつじんじゃ）

山東町栗鹿



當勝神社は天平2年(720)の創建と伝えられ、開運繁栄の神、万物創世の神、織物の神の三柱が祀られる宮として、但丹三国に広く尊信を集めています。武官の木造二体が安置されている隨身門と古宮(旧本殿)は市文化財に指定されており、とりわけ古宮の彫刻は仲井言次忠定といった当時の工匠の力作で、その装飾的技術は近隣に類を見ないものです。

栗鹿神社

山東町栗鹿



但馬国一の宮、延喜式に定める名神大社でもある栗鹿神社は、昔から神徳の高い神社として朝廷の尊崇が厚く、国家の大難に際して4度の勅使が派遣されたと伝えられています。その折りにおかげがあったことを記念して建てられたのが勅使門です。本柱間の両開きの唐戸は、透かし彫りの欄間をつけ、羽目板には鳳凰が刻まれ、頭貫には唐草模様が見られます。

大同寺

山東町早田



大同2年(807)に天台宗の寺院として創建の古刹。南北朝期に臨済宗に改宗し山名氏の菩提寺となりました。県指定文化財の開山堂は、江戸中期の唐様を基調とした仏堂遺構。堂内に奉奠されている中興の開山、月菴禅寺の座像をはじめ、山門や白衣観音図など、県・市指定文化財を蔵しています。

岩屋観音堂

上岩津



60m以上もある岩壁に張り付くように建っている舞台作りのお堂。お堂の祭壇奥の岩の中にあるのが岩屋観音で、鎌倉時代に心阿が刻んだ十一面観音菩薩など15体の石仏が安置されています。この石仏は、節分と4月の春の大祭および毎月18日の午前中にご開帳されます。

歴史資料館

朝来市埋蔵文化財センター「古代あさご館」

山東町大月



国重要文化財である但馬城ノ山古墳及び茶すり山古墳出土品をはじめ膨大な考古資料が保存されています。朝来市内の貴重な歴史遺物を適正な管理のもと、保存・公開しています。また、但馬の歴史・文化に触れられる体験学習メニューも用意されています。

朝来市和田山郷土歴史館

和田山町寺内



農家の再現や生活用品などの豊富な資料を展示しています。また古墳園には、但馬最大の前方後円墳として知られる池田古墳の地形模型や秋葉山古墳群から出土した石棺3基が復元されています。

生野書院

生野町口銀谷



古民家を改修し、平成4年(1992)に開設された生野書院では、古文書や書画を通じて生野の歴史を知ることができます。生野代官所や生野義挙(生野の変)に関する史料を公開する展示室や陶芸室・和室などを備えています。

天然記念物

糸井溪谷・糸井の大カツラ（国指定天然記念物）

和田山町竹ノ内



糸井川上流から東にのびる両側の溪谷風景は美しく、「不動の滝」などの見所の他、溪谷の最奥部には「大カツラ」があり、国の天然記念物に指定されています。

大カツラの主幹はすでに朽ち果て、周囲から約80本の“ひこばえ”が亡き主幹を守るかのような形で林立しています。主幹の跡は6畳間くらいの広さがあり、樹齢は2000年ともいわれています。

延応寺の大ケヤキ（県指定天然記念物）

生野町口銀谷



延応寺の観音堂の前にそびえる大ケヤキは樹齢数100年と推定され、直径2.8メートル、根本周囲8.4メートル、高さが30メートルもあり、ケヤキでは県内2番目の巨木です。生野義挙絵巻にも描かれ、生野鉾山町の栄枯盛衰を見守ってきました。

西谷のフジ（市指定天然記念物）

山東町粟鹿



當勝神社の西方の西谷地区には、推定樹齢300年～350年という、藤の木があります。当地方最古最大の藤として、学術上、自然愛護上、貴重な植物です。そばには地域で信仰の対象とされている地藏堂があります。

八代の大ケヤキ（国指定天然記念物）

八代



高さ約30メートル、幹周り約9メートルもの巨木で国指定の天然記念物です。推定樹齢は約1500年。足鹿神社の境内にあり、古くからご神木としてあがめられています。

ウツギノヒメハナバチ群生地（県指定天然記念物）

山東町楽音寺



5月下旬から6月中旬にかけて、楽音寺境内で巣作りの様子が見られます。ヒメハナ公園入り口付近には、ハチのかわいらしい像が並ぶ通りが整備されています。

オオサンショウウオ（特別天然記念物）



朝来市は、全国でも有数のオオサンショウウオの生息地です。
オオサンショウウオは日本固有で世界最大の両棲類であり、生きている化石と言われ、その生態について詳細なことは全くわかっていません。生野町黒川に「日本ハンザキ研究所」があり、オオサンショウウオについての様々な研究が行われています。

自然景観

山陰随一の藤棚を誇る 大町藤公園

和田山町白井



山陰随一の規模を誇る大町藤公園は、約7000平方メートルの敷地に総延長500メートルの藤棚があり、5月上旬から中旬にかけて花が咲き乱れ、幽玄な空間を創りだし、訪れる人の目を楽しませています。5月上旬に開催される「藤まつり」では、さまざまなイベントが行われます。

但馬吉野 立雲峡

和田山町竹田



立雲峡は、標高757メートルの朝来山中腹にあり、山陰随一の桜の名所として「但馬吉野」と呼ばれます。

立雲峡の最上部には「おおなる池」や「竜神の滝」があるほか、春には樹齢300年ともいわれる老桜が自然美の妙をきわめて咲き誇ります。

奈良時代には立雲峡の桜は広く知られており、養老元年(717年)には、突如温泉が湧出し万病全治の霊泉の出現ということで遠近からの湯治客が後を絶たず、脱衣庵が建てられ湯治宿舎が軒を並べていました。

生野高原

生野町栃原



海拔600メートルの雄大な高原で、ふもとは栃原川、倉谷川が流れ、溪谷を形成しています。一帯は格好のハイキングコースで、ペンション、ゴルフ場、テニスコートなどがあり、保養地として最適です。

夜久野高原

山東町金浦・京都府福知山市夜久野町



朝来市と福知山市夜久野町にまたがる夜久野高原は、今から30万～40万年前、宝山が3回にわたり火山噴火を起こし、その時に流れ出た溶岩が冷え固まって基岩となっています。

段ヶ峰

生野町栃原・宍粟市



山頂までのコースは、見晴らしのいい尾根道や滝登りなど、醍醐味も満点。初心者コースも設定されています。

標高：1,106メートル

粟鹿山

山東町粟鹿・丹波市



朝来群山県立自然公園の主峰で、山頂からは、南に六甲山、北には氷ノ山をはじめとする但馬連山と日本海を一望できます。

標高：962メートル

黒川溪谷

生野町黒川



延長75.8キロメートル、流域面積596平方キロメートルの市川が源流近くで黒川溪谷を形成しています。著しく屈曲して流れており「嵌入蛇行(かんにゅうだこう)」と呼ばれる切断寸前の地形がいくつも連続し、奇景を形成しています。

魚ヶ滝

生野町上生野



「魚ヶ滝」の名前の由来は、川の中ほどにある大きな岩が、まるで魚が滝を登っている姿に似ている所からつけられたといえます。

夏にはオートキャンプ場でキャンプや魚のつかみ取り、川遊びを楽しむ人たちが賑わいます。

国指定文化財

名 称	種 別	場 所
竹田城跡	史跡	和田山町竹田
糸井の大カツラ	天然記念物	和田山町竹ノ内
赤淵神社本殿	建造物	和田山町枚田
但馬城ノ山古墳出土品	考古資料	朝来市埋蔵文化財センター
茶すり山古墳	史跡	和田山町筒江
神子畑鉄橋	建造物	朝来市佐囊（神子畑）
八代の大ケヤキ	天然記念物	朝来市八代（足鹿神社）
兵庫県茶すり山古墳出土品	考古資料	朝来市埋蔵文化財センター
オオサンショウウオ	特別天然記念物	※場所を特定しないもの

国選定文化財

名 称	種 別	場 所
生野鉾山及び鉾山町の文化的景観	重要文化的景観	生野町口銀谷、奥銀谷ほか

県指定文化財

名 称	種 別
石造宝篋印塔（法宝寺）	建造物
石造九重塔	建造物
石造七重塔（慈照寺）	建造物
石幢（慈照寺）	建造物
大同寺開山堂	建造物
羽淵鉄橋	建造物
旧神子畑鉾山事務舎	建造物
絹本墨画白衣観音図	絵画
絹本著色仏涅槃図	絵画
絹本著色両界曼荼羅図	絵画
絹本著色仏画十二天像	絵画
木造薬師如来坐像	彫刻
金銅菩薩立像	彫刻
鷲原寺石仏群	彫刻
石造阿弥陀如来坐像	彫刻
金蔵寺銅鐘	工芸品

名 称	種 別
鰐口（大林寺）	工芸品
鰐口（日輪寺観音堂）	工芸品
金銅装頭椎太刀	考古資料
春日古墳出土遺物一括	考古資料
銅鏡	考古資料
楽音寺経瓦	考古資料
相撲棧敷（表米神社）	有形民俗文化財
旧井上家住宅 （朝来歴史民俗資料館）	有形民俗文化財
寺内ざんざか踊り	無形民俗文化財
池田古墳	史跡
小丸山古墳	史跡
船宮古墳	史跡
円明寺庭園	名勝
護念寺庭園	名勝
延応寺大ケヤキ	天然記念物
ウツギノヒメハナバチ群生地	天然記念物

■ 認定こども園・保育園・学校給食センター・小学校・中学校等

● 認定こども園・保育所

名 称	所在地	電話番号
【公 立】		
朝来市立生野こども園	生野町口銀谷546番地	679-3602
朝来市立系井こども園	和田山町寺内565番地1	675-2644
朝来市立大蔵こども園	和田山町宮田196番地	673-2281
朝来市立東河こども園	和田山町中380番地	672-3257
朝来市立竹田こども園	和田山町竹田592番地1	674-0014
朝来市立中川こども園	桑市99番地	678-0077
朝来市立山口こども園	羽淵538番地	677-0140
朝来市立駅前保育所(休所中)		
【私 立】		
ひまわりこども園	和田山町和田山372番地1	672-5184
枚田みのり保育園	和田山町枚田1622番地	672-5504
やなせこども園	山東町矢名瀬町772番地	676-2344
あわが保育園	山東町早田222番地	676-3329
照福こども園	山東町溝黒123番地1	676-2347
めばえのにわ保育園	和田山町平野548番地	670-2236

● 子育て学習センター

名 称	所在地	電話番号
朝来市生野子育て学習センター	生野町口銀谷418番地4	679-4010
朝来市和田山子育て学習センター	和田山町玉置824番地1	672-6170
朝来市山東子育て学習センター	山東町末歳710番地	676-4633
朝来市朝来子育て学習センター	羽淵390番地	677-0202

● 学童クラブ

名 称	所在地	電話番号
【公 立】		
生野学童クラブ てるてるぼうずの会	生野町口銀谷418番地4	679-4010
系井学童クラブ たんぼぼクラブ	和田山町高生田4番地1	673-3939
大蔵学童クラブ おくらべの会	和田山町宮田210番地	672-2550
和田山学童クラブ めだかの会	和田山町和田山474番地	672-2799
東河学童クラブ つくしんぼクラブ	和田山町中370番地1	672-0378
竹田学童クラブ たけのこクラブ	和田山町安井61番地	674-0029
山東学童クラブ 1・2・3	山東町楽音寺95番地	676-2152
中川学童クラブ ひまわりの会	桑市99番地	678-0567
山口学童クラブ さくらんぼの会	羽淵390番地	677-0210
【私 立】		
照福放課後児童クラブ <じら組	山東町溝黒123番地1	676-2347
枚田みのり放課後児童クラブ	和田山町枚田1649番地	672-6250

●小学校

名 称	所在地	電話番号
朝来市立生野小学校	生野町口銀谷546番地	679-2044
朝来市立系井小学校	和田山町高生田4番地1	675-2821
朝来市立大蔵小学校	和田山町宮田210番地	673-2800
朝来市立枚田小学校	和田山町和田山474番地	672-2049
朝来市立東河小学校	和田山町東和田505番地1	672-2084
朝来市立竹田小学校	和田山町安井61番地	674-2644
朝来市立梁瀬小学校	山東町末歳688番地	676-2014
朝来市立中川小学校	桑市99番地	678-0007
朝来市立山口小学校	羽湊565番地2	677-0040

●中学校

名 称	所在地	電話番号
朝来市立生野中学校	生野町真弓10番地1	679-3063
朝来市立和田山中学校	和田山町柳原90番地	672-3351
朝来市立梁瀬中学校	山東町楽音寺159番地	676-2041
朝来市立朝来中学校	新井92番地	677-0527
生野学園中学校	生野町柝原28番地2	679-3451

●高等学校

名 称	所在地	電話番号
兵庫県立生野高等学校	生野町真弓432番地1	679-3123
兵庫県立和田山高等学校	和田山町枚田岡376番地1	672-3269
兵庫県立和田山特別支援学校	和田山町竹田1987番地1	674-0214
生野学園高等学校	生野町柝原28番地2	679-3451

●兵庫県教育委員会 教育機関

名 称	所在地	電話番号
兵庫県立南但馬自然学校	山東町迫間189番地	676-4730
兵庫県立但馬やまびこの郷	山東町森45番地101	676-4724

●学校給食センター

名 称	所在地	電話番号
朝来市学校給食センター	和田山町枚田649番地1	672-2801

教育・文化・体育施設

名称	所在地	電話番号
朝来市生野生涯学習センター	生野町口銀谷791番地1	679-3544
朝来市生野書院	生野町口銀谷356番地	679-4336
朝来市生野メインホール	生野町口銀谷549番地	679-4500
朝来市生野交流館	生野町真弓491番地1	679-2712
朝来市生野体育館	生野町真弓12番地	
朝来市奥銀谷体育館	生野町奥銀谷1438番地1	
朝来市栃原体育館	生野町栃原562番地	
朝来市八王子グラウンド	生野町口銀谷2401番地1	
朝来市生野オープンボールコート	生野町口銀谷23番地2	
朝来市生野ゲートボール広場	生野町竹原野250番地1	
朝来市栃原運動広場	生野町栃原1699番地	
朝来市和田山生涯学習センター	和田山町玉置824番地1	672-0188
朝来市和田山ジュピターホール	和田山町玉置877番地1	672-1000
朝来市和田山郷土歴史館	和田山町寺内123番地	675-2928
朝来市和田山図書館	和田山町玉置861番地	672-1700
朝来市枚田岡会館	和田山町枚田岡475番地	672-3287
朝来市多世代交流センター	和田山町土田112番地1	672-4433
朝来市室尾野外活動センター	和田山町室尾28番地	
朝来市和田山体育センター	和田山町玉置87番地	672-3845
朝来市和田山武道館	和田山町玉置87番地	672-3845
朝来市秋葉台テニスコート	和田山町秋葉台4番地108	
朝来市和田山スポーツ公園グラウンド	和田山町玉置47番地2	
朝来市和田山屋内ゲートボール場	和田山町土田1088番地	
朝来市筒江農村広場	和田山町筒江100番地	
朝来市寺内すこやかひろば	和田山町寺内561番地	
茶すり山古墳学習館	和田山町筒江79番地1	
朝来市山東生涯学習センター	山東町末歳710番地	670-7300
朝来市さんとう緑風ホール	山東町楽音寺118番地	676-2080
朝来市山東野外活動施設「さんとうアウトドアビレッジ」	山東町粟鹿1781番地	676-4100(自然の家)
西宮市立山東自然の家	山東町粟鹿2179番地	676-4100
朝来市山東体育館	山東町末歳710番地1	
朝来市与布土体育館	山東町溝黒411番地	
朝来市粟鹿体育館	山東町粟鹿873番地	
朝来市山東農村広場	山東町粟鹿147番地2	676-4100(自然の家)
朝来市埋蔵文化財センター「古代あさご館」	山東町大月91番地2	670-7330
朝来市朝来生涯学習センター	新井73番地1	677-2112
朝来市あさご・ささゆりホール	新井73番地1	677-2112
朝来市朝来歴史民俗資料館	多々良木722番地9	
朝来市あさご森の図書館	新井194番地	670-4710
朝来市あさご芸術の森美術館	多々良木739番地3	670-4111
朝来市旧神子畑鉾山事務舎「ムーセハウス写真館」	佐囊1826番地1	677-1717
朝来市朝来福祉会館	伊由市場178番地	678-0243
朝来市朝来体育館	立脇20番地1	
朝来市朝来グラウンド	立脇25番地1	
朝来市あさごふれあいプール「くじら」	新井172番地	670-4700

朝来市教育委員会事務局(朝来市役所本庁舎 4階)

所在地：〒669-5292 兵庫県朝来市和田山町東谷213番地1
<http://www.city.asago.hyogo.jp/>

・学校教育課 672-4930
 ・子ども育成課 672-4933 } FAX 672-4934
 672-4931

・文化財課 670-7330
 ・学校給食センター 672-2801

あさごっ子
 悩み相談センター
 (学校教育課内)

朝来市子ども
 教育支援センター
 (教育委員会内)

本庁舎 〒669-5292 兵庫県朝来市和田山町東谷213番地1
 生野庁舎 〒679-3392 兵庫県朝来市生野町口銀谷791番地1
 山東庁舎 〒669-5192 兵庫県朝来市山東町楽音寺95番地
 朝来庁舎 〒679-3431 兵庫県朝来市新井73番地1

TEL 079(672)3301 代表 FAX 079(672)4041
 TEL 079(679)2240 代表 FAX 079(679)4638
 TEL 079(676)2080 代表 FAX 079(676)2696
 TEL 079(677)1165 代表 FAX 079(677)1513

